# でんでん虫だより

NO.302　2020年 12月



社会福祉法人 でんでん虫の会

〒673-1334　兵庫県加東市吉井768－5

TEL 0795(46)0873 FAX 0795(46)0874

URL　http://dendenmushinokai.com

Mail　info@dendenmushinokai.com


## 今年一年 ありがとうございました

春頃から新型コロナウイルス影響下での生活が続き、今では新しい生活様式での活動が定着しています。事業所では、制約された中でどのようにすれば日常を維持できるか考えることで新しい活動、新しい方法が生まれ、結果として今までの「普通」を変えるチャンスが生まれました。一年を振り返るとでんでん虫の家では、商品の販売方法を見直して作業の比率を変えることで工賃確保に努めました。あっとでは分散活動や個別対応により支援が充実しています。ケアホームあんもでは新しい職員が入り利用者さんに会話の楽しみが増えています。このような時代だからこそ、いつも以上に利用者さんの心に寄り添う支援を大切にしていきたいと思います。

利用者さんが健康でいつも通り活動ができるのもご家族のご協力があってのことと心から感謝しています。関係者の皆様、地域の皆様、今年一年お世話になり本当にありがとうございました。また来年もでんでん虫の会をよろしくお願いいたします。

### 令和３年に挑戦したいこと・抱負

**でんでん虫の家**

- 利用者の工賃を守る！
  コロナに負けず、仕事の幅や販路拡大に努める

**生活介護　あっと**

- 散歩＋クリーン活動で地域に貢献する
- 創作活動の充実

**ケアホームあんも**

- 事業所内でのイベント再開（BBQ など）
- 平日夕方や週末の日中支援の充実

### 加東市障害者相談支援センター つむぎ

加東市 障害を理解し共に暮らす地域づくり事業　講演会　－10月30日－

## ご来場ありがとうございました！

社福祉センターにて

**聞こえを学ぶ講演会**

**コミュニケーションの障害について考える**

講 師：言語聴覚士・手話通訳士　上 田 月 美 氏

聞こえの仕組みや、ろう学校の話、補聴器や人工内耳の話、コロナ禍での聴覚障害者の困りごと等幅広い内容のお話をわかりやすく講義していただきました。聞こえないことを理解し、補聴器や人工内耳をしていても、聞こえる人にはわかりにくい日常の『段差』を埋める力になりたいと思いました。

参加者の声

「補聴器からハウリングが聞こえたときはおしえてあげた方がいいんだということが分かりました。」

「難聴者の方だけではなく、盲ろう者の方もおられたり、コミュニケーションの方法も手話以外にも様々なやり方があるということを知って、知らないがために身構えていましたが、軽く楽しくコミュニケーションをとれるようにできたらいいなと思いました。講演会に参加できて良かったです。」

— 生活介護 あっと 外出 —

11/10・11/12
神戸フルーツ・フラワーパーク

# 当たり前の大切さ

Aグループ

感染症対策のため今年は２グループに分かれて神戸フルーツ・フラワーパークに出かけました。コロナ禍で当たり前のことが当たり前にできない日々ですが、久しぶりの遠出は良い気分転換になりました。利用者さんが喜んでいる様子をみて、活動が制限される中でも当たり前のことを大事にすることが大切なのだと行ってみて改めて気づきました。コロナ対策として始めた分散活動ですが、個別対応が可能になり利用者さんへの支援の充実につながっています。これからも「どうしたらできるか」を職員みんなで考えて助け合い、活動内容を工夫してあっとの活動を充実させていきたいです。

支援員　山中 公平

Bグループ

★☆★☆★☆